

# 学校企画実施計画書

## 1 企画テーマ名称 (P49)

小中連携に生かすイントラネット

～日常的なネットワーク利用による情報活用能力の育成をめざして～

## 2 企画のねらい

これからの高度情報通信社会では、ネットワークを日常生活の中で活用し、使いこなせることが必須の能力になる。インターネットに代表される高度情報通信ネットワークは、私たちの生活に深く浸透し、なくてはならないものになっていくのである。しかし、学校におけるネットワークやコンピュータの活用は、授業場面での活用、あるいは、単にソフトの使い方指導に限られ、実際に生活の中で使って、よさを体感するといったところまで達していない現状がある。

また、今日の教育的な課題のひとつに校種間での連携の問題がある。小学校と中学校、中学校と高校が連携し、密接な協力関係の下、子供たちの教育に当たることの必要性が叫ばれている。連携を密にして様々な教育活動を行うためには、活発な情報交換が必要になってくるが、定期的な会合をもつことがなかなかできないため、小中連携・中高連携による教育活動は、積極的に行われているとは言い難い。

本校は、生徒数10名の極小規模校である。生徒は、隣接する大野小学校から進学してくる。コンピュータの整備が遅れていることもあって、生徒の情報リテラシーはあまり高くない。さらには、これだけ近い距離にありながら、小学校と連携して活動することもほとんどない。

このようなことから、私たちは、小学校と中学校をネットワークで結び、そのネットワークを日常的に活用することで小中連携による教育活動の充実や生徒の情報リテラシーの向上が図れるのではないかと考えた。

具体的には、校内にLinuxのサーバーを中核にすえたLANを構築し、それを既に完成している大野小学校のLANに接続する。2校のネットワークが一体となることで、子供たちどうしでの校内webによる情報発信やメールのやりとりが可能となる。また、データベースサーバーを構築することで、図書貸し出しや購買部オンラインショッピング等も可能となり、日常的なネットワーク活用が図られることになる。

特に、図書の貸し出しや購買部での買い物といった日常的な学校での営みをネットワークを使って行うことは、生徒たちにとって十分刺激的なことである。なぜなら、端末の操作ができないと日常生活に支障をきたすのだから。まさに、数年後の高度情報通信社会を彼らは校内で身をもって体験するのである。

## 3 企画の概要

### (1) 対象 全学年 技術、総合的な学習の時間

研究協力校：垂水市立大野小学校

### (2) 実践の流れ

事前準備

本企画の実施内容について大野小の担当者も含めて意志疎通を図る。同時に、生徒向けのアンケートを作り、生徒の情報活用についての実態を把握する。また、生徒のコンピュータリテラシー向上のための具体策を検討する。（年間指導計画の作成）

Linuxサーバーの構築と大野小までのLANケーブル敷設作業を行う。図書貸し出しシステムや購買部オンラインショッピング等のシステム構築を行う。

#### 実際

各種システム（メール、web、オンラインショッピング、図書貸し出し）を稼働させ、日常的なネットワーク運用を開始する。生徒が慣れてきたら、管理業務（図書貸し出し等）も一部委託する。なお、オンラインショッピングでは、現金を取り扱うので、教師がデータのバックアップを取るなど十分なトラブル防止策をとる。

昼休みや放課後等を利用して、ネットワークを使った様々なイベントを実施する。例としては、ネットワークじゃんけん大会、チャット王選手権などが考えられる。これらのイベントは、中学校だけの単独で行うのではなく、隣接する大野小学校の児童にも参加してもらう。また、技術の時間を利用して、コンピュータリテラシー向上を図るための授業や情報倫理に関する授業も実施する。

#### 評価

1 2月に生徒向けのアンケートを実施する。これは、同様のものを大野小でも実施してもらい、小学生と中学生の違いも含めて考察をまとめる。アンケートの結果にこれまでの生徒の活動の様子を加味して報告書を作成し、インターネットのホームページで公開する。

## 4 実施体制

### （1）実施体制

プロジェクト事務局 垂水市立大野中学校

企画の推進、連絡・調整、予算の配当、成果発表ホームページの作成

小中連携研修会の開催（ネットワーク利用研修等）、報告書の取りまとめ

研究協力校 垂水市立大野小学校（鹿児島県垂水市）

### （2）実施スケジュール（印は、現在の進捗状況等）

5月・第1回小中連携研修会（終了）

・小中間ネットワークの構築

ケーブル敷設作業50%終了

・Linuxサーバー構築（webサーバー、メールサーバー、データベースサーバー）

データベースサーバーのみ未構築。その他はほぼ終了

6月・情報活用に関する実態調査（終了）

・オンラインショッピングシステム構築

・ネットワーク操作マニュアル作成

・各種ネットワークシステム稼働

（購買部オンラインショッピングシステム、図書貸し出しシステム等）

7月・第2回小中連携研修会

7月末実施予定。生徒のネットワーク利用状況等について情報交換。

8月・研究会参加2名

情報教育中央セミナー：1名，その他：1名

10月・第3回小中連携研修会

10月中旬実施予定。ネットワーク利用イベントの内容検討等。

12月・情報活用に関する実態調査（12月中旬を予定）

1月・第4回小中連携研修会（研究のまとめ）

・報告書の作成と送付及び研究成果をインターネットのホームページで公開

### (3) 実施環境

Linuxサーバーを中核にしたイントラネットシステム（大野小も含む）

（webサーバー，メールサーバー，Proxyサーバー，データベースサーバー）

## 5 研究授業計画

本企画では，4回の研究授業を予定している。内容の詳細は，下記のとおり。

回	実施月	生徒のめあて	主な学習内容
1	6月	「Eメールで伝えよう」	<ul style="list-style-type: none"><li>・ メールソフトの使い方を知る。</li><li>・ イントラネットのメールサーバーをとおして，お互いにメールの交換をする。</li><li>・ メールの便利な点について話し合う。</li><li>・ メールのやりとりをする際に気をつけないといけないことは何か話し合う。</li><li>・ 本時の学習の感想をメールに書いて，先生のメールアドレスに送る。</li></ul>
2	7月	「Eメールで伝えよう」	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 小学生から届いたメールを読んで，気づいたことを話し合う。</li><li>・ 相手にわかりやすく伝えるための表現の仕方を考える。</li><li>・ 表現を工夫して，小学生に返事を書く。</li></ul>
3	9月	「オンラインショッピングをしよう」	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 間違って届いた商品と伝票を見て話し合う。</li><li>・ オンラインショッピングの際に気をつけることは何か話し合う。</li><li>・ 第三者によるイタズラ注文の可能性もあることに気づく。</li><li>・ 実際にオンラインで買い物をする。</li><li>・ 本時の学習の感想をメールに書いて，先生のメールアドレスに送る。</li></ul>

4	10月	「図書の本を借りよう」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教師に指定された本を検索システムを使わないで探してみる。</li> <li>・ 図書検索・貸し出しシステムの便利な点について話し合う。</li> <li>・ 図書検索・貸し出しシステムを使って実際に本を借りる。</li> <li>・ 本時の学習の感想をメールに書いて、先生のメールアドレスに送る。</li> </ul>
---	-----	-------------	--

この他にも、日常的な学校生活の場面でネットワーク活用を図っていく。

小中合同のネットワーク活用イベントも数回昼休み等を実施する。（詳細未定）

#### 6 本企画に関する発表等について

現在のところ発表の予定はないが、研究協力校の大野小学校が下記の研究会で関連した内容を発表する予定である。

平成13年12月7日（金）垂水市教育委員会指定「情報教育」研究協力校研究公開
--

#### 7 その他

（1）研究の途中経過は、随時大野中ホームページに掲載していく予定である。また、機会があれば各種研究団体の会合等で紹介したい。

（2）企画終了後も各種ネットワークシステムは稼働させ、日常的なネットワーク活用をさせていく。